

隈府小 5 年生

国語 2

令和 2 年 5 月 1 8 日 (月)

2 時間目 (10 : 00 ~ 10 : 45)

国語2

だいじょうぶだいじょうぶ

【学習の準備をしよう。】

- ・ 漢字スキル
- ・ 国語の教科書
- ・ 国語ノート
- ・ 筆記用具
- ・ 国語辞書

国語2

だいじょうぶだいじょうぶ

①漢字スキル14ページの書きこみ練習をしよう。

(5分)

・とめ、はね、はらいに気を付けて書きます。

・自分が書ける一番ていねいな字で書きます。

終わったら、漢字スキルを閉じて次へ進もう。

国語2

だいたいじょうぶだいたいじょうぶ

②日付を書き、めあてを
ノートに写そう。

めあて

六つの「だいたいじょうぶだ
いじょうぶ」について、誰
から誰に対して言っている
言葉なのか確かめよう。

国語2

だ い じ ょ う ぶ だ い じ ょ う ぶ

③教科書の「だ い じ ょ う ぶ」を二回音読しよう。

【教科書】 18 ～ 22 ページ

- ・読み方がわからない言葉や意味がわからない言葉は丸でかこんでおこう。

国語2

だいいじょうぶだいいじょうぶ

④文章中に六回出てくる「だ
いじょうぶだいいじょうぶ」に
線を引こう。

六つの「だいいじょうぶだ
いじょうぶ」に線を引けたかな？
確かめてみよう。

一回目	二回目	三回目	四回目	五回目	六回目
20	20	20	20	21	22
ペ	ペ	ペ	ペ	ペ	ペ
—	—	—	—	—	—
ジ	ジ	ジ	ジ	ジ	ジ
3	4	7	10	3	5
行目	行目	行目	行目	行目	行目

だいいじょうぶだいいじょうぶ

④線を引いたら、「一つずつだれからだれに対して言っているのか考えて、ノートに書こう。」

《トント》

一回目の「だいいじょうぶ、だいいじょうぶ、だいいじょうぶ」

おじいちゃんは、ぼくの手をにぎり、おまじないのようにつぶやくのでした。

「だいいじょうぶ、だいいじょうぶ。」

(東京書籍「だいいじょうぶ だいいじょうぶ」いとうひろし)

前に「おじいちゃんは、**…つぶやく**のでした。」

と書いてあるね。ということは、この「だいいじょうぶ、だいいじょうぶ」は「おじいちゃん」が「**ぼく**」に対して言っているということだね。

さし絵を見ると「おじいちゃん」が「ぼく」の手をにぎったり、「ぼく」に向かって話したりしているね。

国語2

だいじょうぶだいたいじょうぶ

《ヒント》

六回目の「だいじょうぶ、だいじょうぶ」

最初の一文から、「ぼく」が大きくなって「おじいちゃん」が年を取った「現在」のことが語られていることがわかるね。

ぼくは、ずいぶん大きくなりました。おじいちゃんは、ずいぶん年を取りました。
だから、今度はぼくの番です。
おじいちゃんの手をにぎり、何度でも何度でもくり返します。

「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」
だいじょうぶだよ、おじいちゃん。

(東京書籍「だいじょうぶ だいじょうぶ」いとうひろし)

「今度は僕の番」や「おじいちゃんの手をにぎり」というところから、「ぼく」が「おじいちゃん」に向けて「だいじょうぶ、だいじょうぶ」と伝えていくことがわかるね。
最後も、「だいじょうぶだよ、おじいちゃん」と、おじいちゃんに語りかけていることがわかるよ。

国語2

だいじょうぶだいじょうぶ

⑤合っているか、確かめよう。

一回目…「おじいちゃん」から

「ぼく」へ

二回目…「おじいちゃん」から

「ぼく」へ

三回目…「おじいちゃん」から

「ぼく」へ

四回目…「おじいちゃん」から

「ぼく」へ

五回目…「おじいちゃん」と

「ぼく」で

六回目…「ぼく」から

「おじいちゃん」へ

国語2

だ い じ ょ う ぶ だ い じ ょ う ぶ

【次の国語は…】

— 一つ — 一つの「だ い じ ょ う ぶ
だ い じ ょ う ぶ」に込められた
意味を考えてみよう。